

正橋剛二先生を偲んで

赤祖父一知

北陸医史学会元会長・日本医史学会功労会員の正橋剛二先生は平成二十七年十月三日八十五歳で逝去されました

先生は昭和十三年本学会の前身・北陸医史学同好会の発起人會に富山県より参画し、昭和五十四年同会の発足時から今日まで幹事として本学会の発展に尽力されました。その間毎年例会の演題は勿論、研究論文として本会誌にかかさずご投稿いただきました。

平成十八年からは会長の要職に就かれ平成二十二年辞退を表明される間には、福井県医師会内にあった学会事務局をご自宅に置かれ、学会規約を改正し、会員数の増加に努められました。

また、平成二十一年二月二十五日発刊の本会設立三十周年記念号を通刊の大三十一号として、「北陸医史学会掲載論文総目次」を展観・展示目録などを含めて、お一人で作成されました。これは記念事業として非常に意義深いものであったと思います。

なお先生のご逝去につきましては、十月七日ごろ山本博会長からの電話で知りました。そのとき入院病床にあった自分は茫然自失、悲しみにつつまれました。体力の回復次第参上し、ご冥福を祈るつもりであります。



正橋剛二先生

先生には個人的にも色々お世話になりました。本当にありがとうございました。